

科目名	老年看護学演習ⅡB Gerontological Nursing SeminarⅡB		担当教員 (研究室番号)	小松 美砂 (301) 松岡 千代 (非常勤) 六角 僚子 (405)		教員への連絡方法 (メールアドレス)	小松 : misa.komatsu@mcn.ac.jp 六角 : ryoko.rokkaku@mcn.ac.jp				
履修 年次	1年次 後期	科目 区分	専門科目	選択 区分	コース 必修	単位数 (時間)	2 (30)	授業 形態	演習	科目等 履修生 遠隔授業	否 否
科目 目的	高齢者が地域において心身の健康を保持し、そのらしく生活する上で必要な援助を包括的かつ継続的に提供するために、長期の確立経過のなかでセルフケアを行っている高齢者及び家族に対し、高度な看護援助を実践する能力を養うことを目的とする。なお本科目は、日本看護系大学協議会が定める高度実践看護師教育課程基準（専攻分野専門科目：慢性期における老年看護に関する科目に相当する科目である）。										
ディプロ マ・ボリン (DP)	主要なDP 関連する DP	7. 看護学の特定分野における卓越した看護実践能力を修得している。 1. 多様化・複雑化・高度化する看護ニーズを的確に捉え、看護の特定領域における高度な看護実践能力や総合的な調整能力を身につけている。									
到達 目標	1) 高齢者に多くみられる慢性期疾患の特徴をふまえ、適切な評価指標や評価尺度を選定し、病態像についてアセスメントすることができる。 2) 看護理論やモデルを用いて、慢性期疾患を有する高齢者と家族に必要な看護についてアセスメントすることができる。 3) アセスメントに基づいて、ケアとキュアの両側面から、高齢者や家族に必要な看護援助を立案することができる。 4) 地域包括ケアシステムにおける高齢者に対するケアとキュアを統合した看護について自己の見解を述べるができる。										
成績評価方法 (基準)	①レポート (30%) ②演習内容及びディスカッションへの参加 (70%)										
教科書	随時紹介する										
参考書等	随時紹介する										
受講者への メッセージ	慢性期疾患を有する高齢者に対するケアとキュアを統合した援助について、深く考えていきましょう。										
備考	【演習方法】 ・地域包括ケアシステムにおいて慢性期疾患を有する高齢者への看護実践の意義を検討し、実践の基盤となるケアの視点を学ぶ。 ・循環器系疾患、糖尿病、パーキンソン病等の演習事例について、高齢者の病態像やアセスメントの目的に応じた看護理論、評価指標・評価尺度を選定した上でアセスメントを実施する。 ・高齢者や家族への退院支援を踏まえた看護計画を立案し、専門看護師としての実践について検討する。 ・具体的な援助方法等について履修者及び教員でロールプレイ等の演習を行い適切な援助方法について討議する。										
回	学習項目			学習内容				主担当 教員	授業 方法		
1回	オリエンテーション 学習内容と課題・目標の設定			演習目標(目的)、演習日程、演習課題を確認する。また、地域包括ケアシステムにおける高齢者の生活について学習する。				小松	演習		
2回	高齢者の自立を支える慢性期看護の実践①			高齢者が住み慣れた地域において自立した生活を継続するために必要となる、食事・排泄等のそれぞれの生活場面に関する看護援助について、演習を通して援助方法を習得する。				小松	演習		
3回	高齢者の自立を支える慢性期看護の実践②			高齢者が住み慣れた地域において自立した生活を継続するために必要となる、食事・排泄等のそれぞれの生活場面に関する看護援助について、演習を通して援助方法を習得する。				小松	演習		
4回	循環器系疾患を有する高齢者への看護①			医療機関において、慢性期の循環器系疾患を有する高齢者の実際の事例について、病態像をふまえ、看護理論、評価指標・評価尺度を選定した上でアセスメントし、立案した看護計画をもとに専門看護師としての高度な看護について検討する。(施設における学外演習)				小松	演習		
5回	循環器系疾患を有する高齢者への看護②			慢性期の循環器疾患を有する高齢者に対する治療と生活支援の両面から捉えた高度な援助方法の実際を振り返り、立案した看護計画をより深く検討するために履修者および教員でロールプレイを行い、より適切な援助方法について討議する。				小松	演習		
6回	糖尿病を有する高齢者への看護①			医療機関において、糖尿病を有する高齢者の実際の事例を病態像をふまえ、看護理論、評価指標・評価尺度を選定した上でアセスメントし、立案した看護計画をもとに専門看護師としての高度な看護について検討する。(施設における学外演習)				小松	演習		
7回	糖尿病を有する高齢者への看護②			糖尿病を有する高齢者に対する治療と生活支援の両面から捉えた高度な援助方法の実際を振り返り、立案した看護計画をより深く検討するために履修者および教員でロールプレイを行い、より適切な援助方法について討議する。				小松	演習		
8回	パーキンソン病を有する高齢者への看護①			医療機関において、パーキンソン病を有する高齢者の実際の事例について、病態像をふまえ、看護理論、評価指標・評価尺度を選定した上でアセスメントし、立案した看護計画をもとに専門看護師としての高度な看護について検討する。(施設における学外演習)				小松	演習		
9回	パーキンソン病を有する高齢者への看護②			パーキンソン病を有する高齢者に対する治療と生活支援の両面から捉えた高度な援助方法の実際を振り返り、立案した看護計画をより深く検討するために履修者および教員でロールプレイを行い、より適切な援助方法について討議する。				小松	演習		
10回	慢性期看護実践における組織及び医療チームとの協働①			慢性期疾患を有する高齢者を取り巻く組織や医療チームと協働するために必要となる看護の役割について、臨地で経験した事例を振り返り、演習を通して課題を明確化する。				小松	演習		
11回	慢性期看護実践における組織及び医療チームとの協働②			慢性期疾患を有する高齢者を取り巻く組織や医療チームと協働するために必要となる看護の役割について、臨地で経験した事例を振り返り、演習を通して課題を明確化する。				小松	演習		
12回	慢性期疾患を有する高齢者へのケアとキュアを統合した看護援助①			慢性的経過のなかで生じる高齢者の生活上の課題に対して、ケアとキュアを統合した看護援助について、臨地で経験した事例を用いた演習を通して明確化する。				松岡	演習		
13回	慢性期疾患を有する高齢者へのケアとキュアを統合した看護援助②			慢性的経過のなかで生じる高齢者の生活上の課題に対して、治療と生活支援の両面から捉えた看護援助について、臨地で経験した事例を用いた演習を通して明確化する。				松岡	演習		
14回	慢性期看護における老人看護専門看護師の役割と課題①			地域包括ケアシステムを推進する上で、慢性期疾患を有する高齢者と家族に対し老人看護専門看護師がどのような役割を担う必要があるか、演習を通して得た学びを振り返り自己の課題を明確化する。				小松 六角	演習		
15回	慢性期看護における老人看護専門看護師の役割と課題②			地域包括ケアシステムを推進する上で、慢性期疾患を有する高齢者と家族に対し老人看護専門看護師がどのような役割を担う必要があるか、演習を通して得た学びを振り返り自己の課題を明確化する。				小松 六角	演習		